



古曾志大谷 1号墳 (発見時)

古墳を見てまず驚くのは、その大きさと、ふたつ、大量の土を盛って、山のように築き上げられた墳丘。日本の歴史の中で、こんなに大きな墓を造っていた時代があったのです。なにかおもしろいところ、この墳丘の形や大きさに、はまるとまなまものがあり、そこには何か理由が隠されています。

よく知られた古墳の名前に、前方後円墳・前方後方墳・円墳・方墳などがあります。これは古墳の墳丘を真上から見た形を表現したのですが、当時の人たちは空から見下ろすことなどできなかつたはずなのに、上から見ることを意識していたとしか考えられないほどの古墳も整った形をしています。



歩いてみよう

古墳の形



古曾志大谷 1号墳実大模型
(松江市・古墳の丘古曾志公園)